

サウンドデザイン演習 (女子美術大学)

【講義5】バロックの音楽
～絶対王政・激情・オペラ (1600-1750)

講義担当: 石井拓洋

ishii05042@venus.joshibi.jp

2015

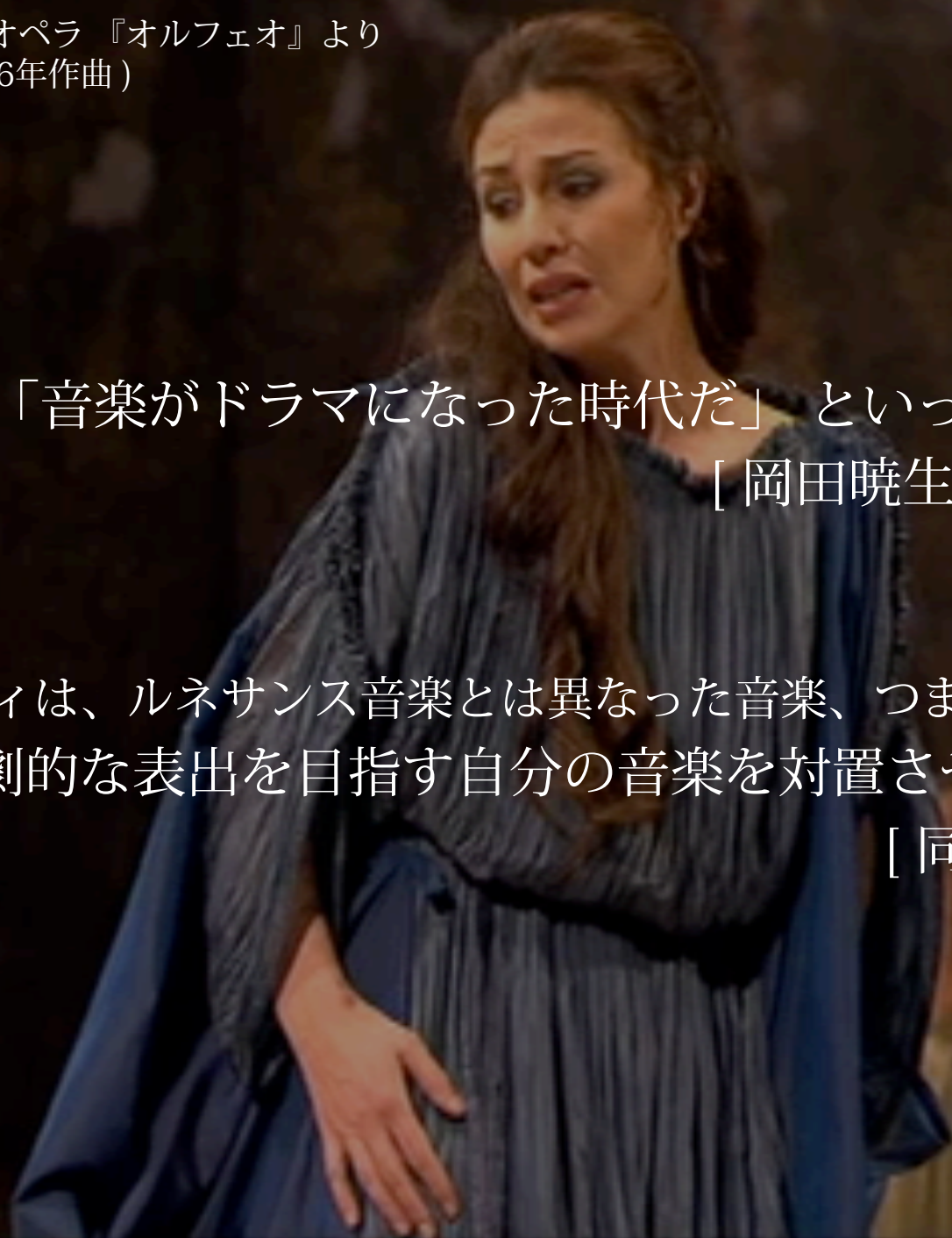
画像：世界初の本格的なオペラ『オルフェオ』より
(C.モンテベルディ, 1606年作曲)



画像：世界初の本格的なオペラ『オルフェオ』より
(C.モンテベルディ, 1606年作曲)

バロックとは「音楽がドラマになった時代だ」といってもいい。
[岡田暁生：69]

[モンテベルディは、ルネサンス音楽とは異なった音楽、つまり]
歌詞内容の劇的な表出を目指す自分の音楽を対置させた。
[同前]



画像：世界初の本格的なオペラ 『オルフェオ』 より
(C.モンテベルディ, 1606年作曲)

「中世からルネサンスへむけての西洋音楽史は、
『宗教から生まれた音楽が、徐々に裕福な貴族のための
快適な楽しみへ移行していくプロセス』として
理解できるだろう」

[岡田 : 66]

バロックの音楽の時代背景

- 時代 (1600-1750)
 - ルネサンス音楽(1200頃-1600頃) のあと。
 - 政治的背景 = 「絶対主義」
 - 16C-18Cのヨーロッパ
 - 国王が行政・司法・軍事等を、誰の制約も受けず行使する政治体制
-
- オーストリア「ハプスブルグ朝」 (マリー・アントワネットの生家)
 - フランス 「ブルボン朝」 (ルイ14世 “太陽王” 在位 1643-1715)
 - ロシア 「ロマノフ朝」 (エカチェリーナ2世, 第8代ロシア女帝, 在位 1762-1796)
 - イギリス 「チューダー朝」 (エリザベス1世, 第5代英国女王, 在位 1558-1603)

バロックの音楽の時代背景

- 絶対王政の背景

- 「王権神授説」 [松宮 : 79]

- 神から王権を付託されたとする考え。これに基づいて
国王はローマ教皇の権威から独立し、人民を支配した。

新約聖書「ローマの信徒への手紙」第13章
(絶対王政の理論的根拠の一つといわれる)

「人は皆、上に立つ権威に従うべきです、今ある権威はすべて神によって
立てられたものだからです。従って、権威に逆らう者は、神の定めに背く
ことになり、背く者は自分の身に裁きを招くでしょう」 (ロマ書 13章)

バロックの音楽の時代背景

- ・ 音楽の拠点 → イタリア（フィレンツェ, ローマ, ナポリ）
↓
ドイツ圏（ザクセン, ウィーン）
- ・ 「バロック」 *baroque* の美意識
 - バロック とは「いびつな真珠」の意味
 - ルネサンスと比較して「美術の趣味が悪い」という否定的な語
 - ルネサンス (調和の美) ⇔ バロック (劇的な美)

イタリア・バロック美術の代表
ベルニーニ 彫刻と建築 『聖女テレジアの法悦』 (1645-1652) 大理石

サンタ・マリア・デッラ・ヴィットーリア教会コルナロ礼拝堂 (ローマ)

イタリア・バロック美術の代表

ベルニーニ 彫刻と建築 『聖女テレジアの法悦』 (1645-1652)



サンタ・マリア・デッラ・ヴィットーリア教会コルナロ礼拝堂 (ローマ)



ベルニーニ作 『ルイ14世胸像』 (1665) 大理石、ベルサイユ宮殿 ディアナの間

イタリア・バロック美術の代表
ベルニーニ 彫刻と建築 『サン・ピエトロ大聖堂前の列柱廊』 (1607-1615)



バロックの音楽

Q.

バロックの音楽を代表する作曲家といえば？

バロックの音楽

Q.

バロックの音楽を代表する作曲家といえば？

A. (想定される模範的解答)

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)

バロックの音楽

J.S.ノットハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)



🔊 《マタイ受難曲》 BWV 244 - 第1曲 合唱「来たれ、娘たちよ、我と共に嘆け」

🔊 《2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調》 BWV1043 「第1楽章」

バロックの音楽

G.F.ヘンデル Georg Friedrich Händel (1685-1759)



【試聴】

《オンブラ・マイ・フ》Ombra mai fù (1737) 歌：キャスリーン・バトル Kathleen Battle (ソプラノ)

ソプラノ歌手キャスリーン・バトルが歌ったこの曲は 1986年の「スーパーニッカ」CM で 使用されて大反響をえた。
ちなみに映像の演出は、ウルトラマンシリーズで有名な 映画監督・実相寺昭雄氏

<https://www.youtube.com/watch?v=sAE8dAqAiZE>

【試聴】

ヘンデル作曲 《オンブラ・マイ・フ》 (1737) 歌：キャスリーン・バトル Kathleen Battle (ソプラノ)



[https:// www.youtube.com/ watch?v=sAE8dAqAiZE](https://www.youtube.com/watch?v=sAE8dAqAiZE)

ソプラノ歌手キャスリーン・バトルが歌ったこの曲は 1986年の「スーパーニッカ」CM で 使用されて大反響をえた。
ちなみに、この映像の演出は、ウルトラマンシリーズで有名な 映画監督・実相寺昭雄氏

バロックの音楽

Q.

バロックの音楽を代表する作曲家といえば？

A. (想定される模範的解答)

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)

or

G.F.ヘンデル Georg Friedrich Händel (1685-1759)

バロックの音楽

A .

J.S.バッハ？

もちろん、バッハらは
この時代において無視出
来ない優れた作品を残した。

一方、、、

バロックの音楽

A .

J.S.バッハ？

この時代の音楽様式を
特徴づけるという点では

必ずしも
「典型的な作曲家」
とは言い難い。

時代様式がとらえにくい バロック音楽

「バロック音楽史の見取り図をややこしくしているのは、
バッハという『時代の最も偉大な作曲家』が
必ずしも文句無しに『時代の最も典型的な作曲家』
とはいえない点にある」 [岡田：85]

「バッハのイメージでバロック全体を代表させるようなことはしない方がいい」。
「バッハは〔※当時すでに〕古風なスタイルになりつつあった」
[岡田：86-87]

それでは、
「バロック音楽」の時代の内実とは？

2つの側面から探るバロック音楽

1. 社会機能的側面

2. 音楽書法的側面

バロック音楽の社会機能的側面

この時代 (16C~18C) の 西欧の「社会」とは

「絶対王政」の時代



「正殿」

<http://bienvenue.chateauversailles.fr/en/accueil>

フランス 「ブルボン朝」

ベルサイユ宮殿



フランス 「ブルボン朝」 ベルサイユ宮殿



「オランジュリー庭園」と「スイス人の池」
<https://ciejai.files.wordpress.com/2013/11/dscn08201.jpg>

フランス 「ブルボン朝」 ベルサイユ宮殿



「鏡の回廊」

http://en.wikipedia.org/wiki/Hall_of_Mirrors

フランス 「ブルボン朝」 ベルサイユ宮殿

フランス 「ブルボン朝」 ベルサイユ宮殿



「王妃の正殿」 マリー・アントワネットの寝室

http://commons.wikimedia.org/wiki/File:Versailles_Queen%27s_Chamber.jpg



プチ・トレアノン「社交の間」
撮影: T. ISHII

フランス 「ブルボン朝」 ベルサイユ宮殿



「王妃の村里」

撮影: T. ISHII

フランス 「ブルボン朝」 ベルサイユ宮殿

「マリー=アントワネットはヴェルサイユの宮廷から遠ざかることを考えて、1783年、村里を欲しました。田園生活の魅力と、親しい宮廷の女性たちに囲まれてのひと時を求めて、王妃は村里を訪れました。村里は、農夫が管理する 実際の農家として機能し、そこからの収穫物は宮殿の厨房に運ばれたのです」

<http://jp.chateauversailles.fr/jp/discover-the-estate/le-domaine-de-marie-antoinette/the-queen-hamlet/the-queens-hamlet>



正面全景
撮影: T. ISHII

フランス 「ブルボン朝」 ベルサイユ宮殿



実際の「鏡の回廊」

撮影: T.ISHII

フランス 「ブルボン朝」

ベルサイユ宮殿



プロイセンは普仏戦争でパリを陥落し、仏の象徴であるこの回廊を使用してドイツ帝国を誕生させた(ドイツ統一, 1871)。一方、仏は、第一次世界大戦でドイツ帝国が敗れた時、この回廊でドイツに敗戦責任を問うた(ベルサイユ条約, 1919)。

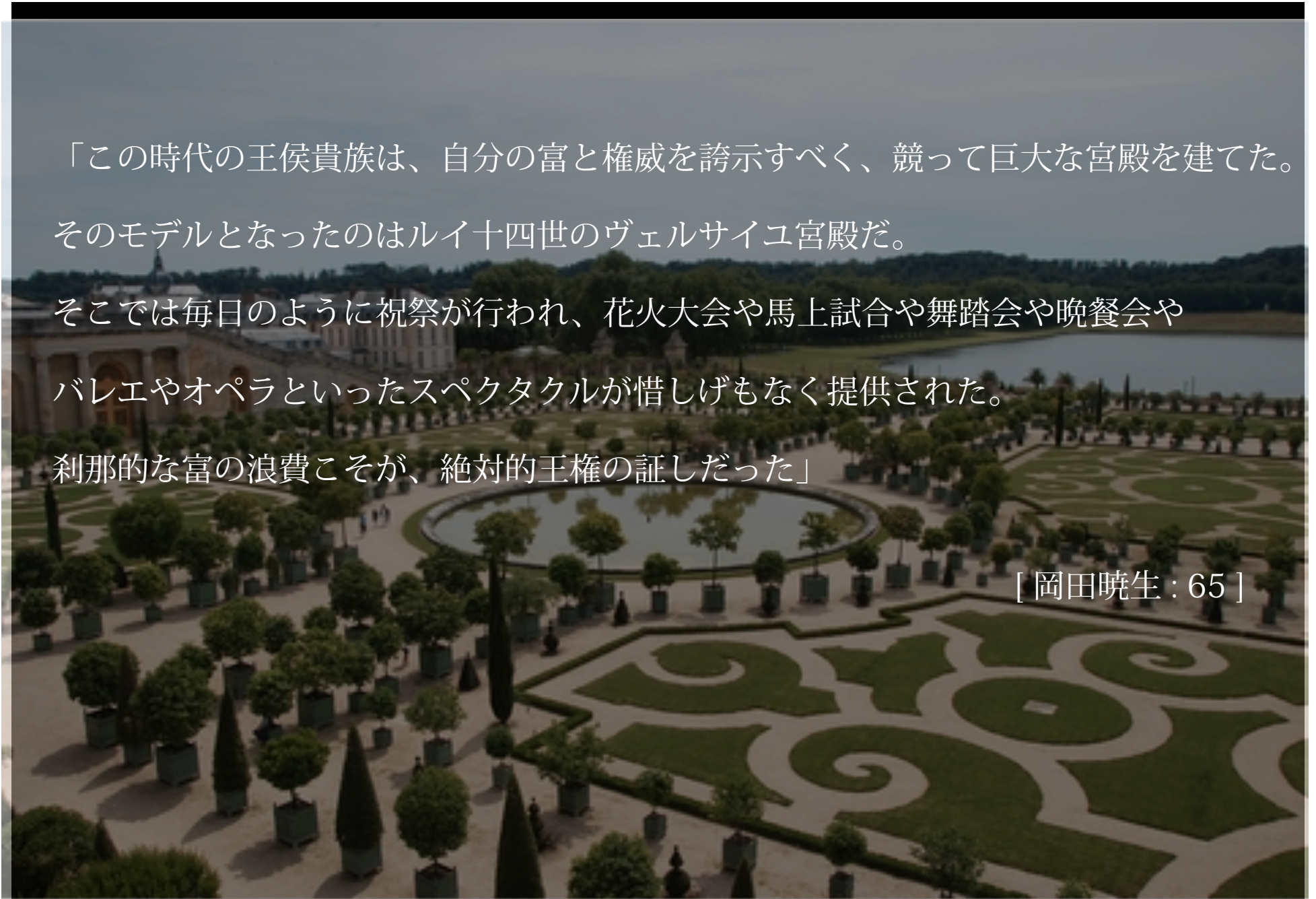


「この時代の王侯貴族は、自分の富と権威を誇示すべく、競って巨大な宮殿を建てた。
そのモデルとなったのはルイ十四世のヴェルサイユ宮殿だ。

そこでは毎日のように祝祭が行われ、花火大会や馬上試合や舞踏会や晩餐会や
バレエやオペラといったスペクタクルが惜しげもなく提供された。

刹那的な富の浪費こそが、絶対的王権の証しだった」

[岡田暁生 : 65]



「『王は願望を述べ、芸術家たちは構想を提出し、役人達は計算し、委員会では協議が行われた。手職人の一隊、大工、画家、仕立屋、庭師、料理人が動員された。

〔中略〕数千人の労働者が10万時間働いた、— それもおそらく一夜のうちに浪費されるためであった』（〔※ リヒャルト・アレヴィン『大世界劇場』より〕」

「花火、衣装、食事、建築、噴水、庭園、芝居、踊りなどと並んで—— こうした壮大な祝祭を演出するために欠かせない小道具の一つが、音楽だったのである」

[岡田暁生 : 65 - 66]

バロック音楽の社会的機能は第一に

王様を讃える音楽

ルイ14世 と 作曲家リュリ



ルイ14世「太陽王」在位 1643-1715
バレエ好きなフランス国王



ルイ14世の宮廷楽長。イタリア生まれ
フランス貴族社会で権勢をほしいままにする



画像：映画『王は踊る』（2000年）より

ルイ14世 Louis XIV (1638 – 1715) ブルボン朝からの第3代目のフランス国王。在位期間 (1643 - 1715) 。
5歳にして国王即位。バレエを奨励し、自らも 13歳 (1651年2月) で バレエの初舞台を踏む。 15歳 のころ、宮廷バレエ『夜』
で初主演 (1653年2月23日) 。そのときに太陽に扮して踊ったことで「太陽王」とよばれる。この公演は、貴族の王室に対する
反乱 (フロンドの乱) を彼が制圧した直後であり、ルイ14世の権力を見せつける機会となり、以後「絶対王政」が始まることになる。

ルイ14世 と 作曲家リュリ

映画 『王は踊る』

(*Le Roi danse* , 2000制作, ジュラルール・コルビオ監督, ベルギー)

- 作曲家 ジャン=バティスト・リュリの生涯を描いた映画
- 当時の宮廷と音楽との関係がよく描かれている映画
- 1653年に宮廷で自ら「太陽王」に扮して上演した 宮廷バレエ 『夜』の様子も。
- 貴族の反乱 (フロンドの乱) を制圧した直後の公演であった。
- 『夜』は 彼の権力を誇示する機会となり、以後「絶対王政」が開始される。
- 当時、ルイ14世は 15歳。

参考資料 [白石 , 1991]

※ ルイ14世は背を高く見せるために 「ハイヒール」 をはくことを好んだ。映画でそれにちなんだ描写もあり。

映画『王は踊る』（2000年）より（6分程度）



1653年、15歳のルイ14世が「太陽王」に扮して上演した宮廷バレエ『夜』の様子。
作曲家リュリはルイ14世の寵愛を受けて宮廷楽長となり権勢をふるった。
王を讃えるために音楽を書いたリュリにおいて、バロック音楽の社会的側面の一つの
典型をみることができる。

バッハとバロックの関係

ルネサンス = キリストのための音楽

バロック = 王様のための音楽

バッハ = ?

バッハ とバロックの関係

ルネサンス = キリストのための音楽

バロック = 王様のための音楽

バッハ = キリストのための音楽（旧）
プロテスタント（ルター派）

バロック音楽の音楽書法的側面

バロック音楽の音楽書法的側面

歌詞の内容伝達を重視する音楽

バロック音楽の音楽書法的側面

歌詞の内容伝達を重視する音楽

音楽サークル「カメラータ」 (1600年頃, イタリア・フィレンツェ)

- ルネサンスの流れでギリシャの古典が研究
- 詩と音楽の理想的融合の範 → ギリシャ悲劇
- ギリシャ悲劇の復興を目指した。
- 作曲家 カッチーニ や ガリレイ (ガリレオの父) など

バロック音楽の音楽書法的側面

歌詞の内容伝達を重視する音楽

音楽サークル「カメラータ」 (1600年頃, イタリア・フィレンツェ)

- ルネサンスの流れでギリシャの古典が研究
- 詩と音楽の理想的融合の範 → ギリシャ悲劇
- ギリシャ悲劇の復興を目指した。
- 作曲家 カッチーニ や ガリレイ (ガリレオの父) など

→ 「オペラ」の 誕生

バロック音楽の音楽書法的側面

歌詞の内容伝達を重視する音楽

- ルネサンス音楽(対位法の音楽)は

歌詞が聞き取れないからバロックでは嫌われた。

バロック音楽の音楽書法的側面

そこで

バロック音楽の音楽書法的側面

一人の歌手と楽器の伴奏の、
歌詞が聞き取りやすい音楽の形が生まれた

→ 「モノディー様式」

オペラの「レチタティーヴォ」と「アリア」へ

バロック音楽の音楽書法的側面

【聞き比べ】

パレストリーナ（ルネサンス期，対位法様式）



《ミサ・ナシェ・ラ・ジョイア・ミア Missa Nasce La Gioja Mia》 - Kyrie (1590)

A. スカルラッティ（バロック期，モノディ様式）



アリア《堇 すみれ》 - 歌劇「ピッコとデメートリオ」より

バロック音楽の音楽書法的側面

【概略】

ルネサンスにおける古典研究



ギリシャ悲劇の復元（フィレンツェの音楽サークル「カメラータ」）



歌と伴奏の形（「モノディー様式」→「レチタティーヴォ」や「アリア」）



感情表現の追求

「オペラ」の誕生

バロック音楽の音楽書法的側面

世界初の本格的オペラ

オペラ『オルフェオ』(1607)

作曲 : クラウディオ・モンテベルディ (1567-1643, イタリア)

バロック音楽の音楽書法的側面

世界初の本格的オペラ

オペラ『オルフェオ』(1607) 作曲：モンテベルディ

【あらすじ】

- ・ 古代ギリシャ時代、オルフェオ(男) はエウリディーチェと結婚した
- ・ しかし、妻エウリディーチェは毒蛇にかまれて死ぬ
- ・ 悲しむオルフェオは神に頼んで 天国から妻の奪取を試みる
- ・ 神からの条件は、帰路にて妻の顔を見ないことであった
- ・ しかし、オルフェオは天国からの帰路に妻の顔を見てしまう
- ・ 妻は消えてしまう。
- ・ なので、オルフェオ自身も天国へ行って妻と暮らすことにする。

現代のオーケストラとは異なる 古楽器

中世フィドル

ビオラ・ダ・ガンバ

フィードル

レベック

レベック

ヴィオラ・ダ・ガンバ



バッハとバロックの関係

ルネサンス(対位法 = 複数の旋律線による音楽)

バロック(歌と伴奏, モノディー)

バッハ ?

バッハとバロックの関係

ルネサンス(対位法 = 複数の旋律線による音楽)

バロック(歌と伴奏, モノディー)

バッハ 対位法 (旧)

※ 世界初の音楽学校

～ イタリアの港町の孤児院

※ 世界初の音楽学校

～ イタリアの港町の孤児院

- ・イタリアの「ナポリ」と「ヴェネチア」に設立。（16C）
- ・2都市は港町。港町には捨て子が多い。
- ・イタリアは、そのような捨て子に、自立の道をつくるために音楽学校をつくり、彼らに教育を与えたという。
- ・ナポリの「ピエタ孤児院」（音楽学校）では、ビバルディが教えていた。
- ・ヴェネチアでは、『堇（すみれ）』のA.スカルラッティが教えていた。
- ・優秀な生徒は、イタリア・オペラの歌手としてデビューした。
このような、孤児の自立のための音楽学校がイタリア・オペラを支えた。

参考文献

- 松宮秀治 (2008)『芸術崇拜の思想：政教分離とヨーロッパの新しい神』白水社
岡田暁生 (2005)『西洋音楽史』中公新書
ドナルド.H.ヴァン.エス(1970=1986)『西洋音楽史：音楽様式の遺産』新時代社
片桐功・他(1996)『はじめての音楽史』音楽之友社
石井宏 (2004)『反音楽史：さらばベートーヴェン』新潮社
N.アーノンクール(1982=1997)『古学とは何か：言語としての音楽』音楽之友社
白石嘉治 (1991)「踊る王から見る王へ：ルイ14世治下におけるオペラ再興の一断面」
『Les Lettres francaises』11号、上智大学フランス語フランス文学紀要編集委員会

Web「マティアス・ヴェックマン」(Retrieved 2012-06-11)

<http://www.geocities.co.jp/MusicHall/4053/weckmann.html>